

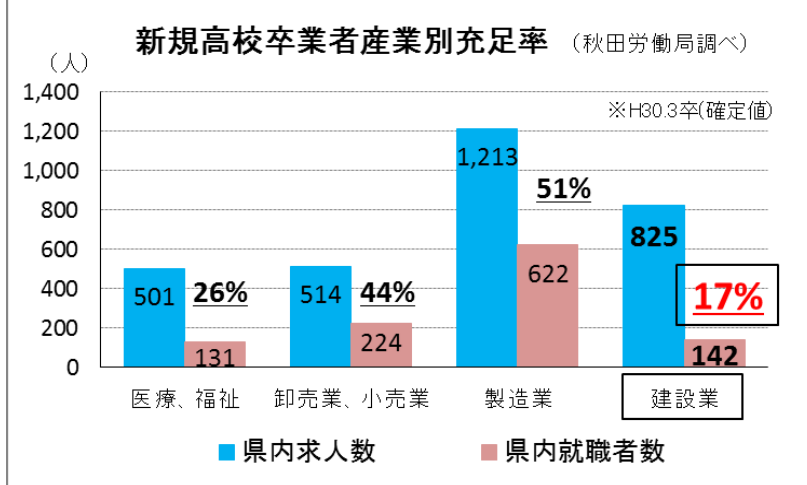
建設産業担い手確保育成センターによる建設人材の確保・育成の推進について

資料 2

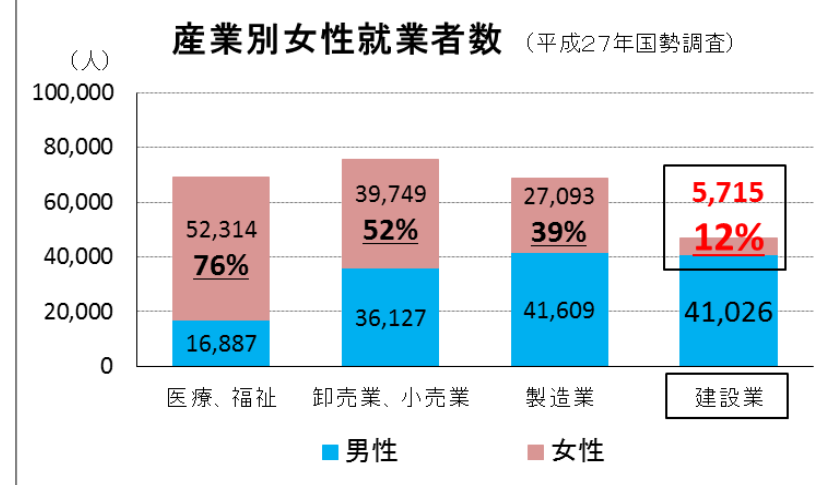
平成30年11月21日
建設部建設政策課

〈現状と課題〉

①若者の入職者が不足している



②女性の就業者が少ない



〈目指す姿〉

新しい建設産業の確立

- ① 若者が興味を持ち、入職につながる職場づくり
- ② 女性が活躍できる環境づくり
- ③ 働き方改革や生産性向上に対応するためのICT活用

建設業就職内定状況(高卒)

(平成30年9月末現在)

(単位:人)	H30.9	H29.9	増減
県内	111	104	+7
うち女子	18	5	+13
県外	72	76	▲4

第3期プランにおける数値目標

(県内建設業に就職した新規高校卒業者数)

(単位:人)	現状値(H28)	H29	H30	H31	H32	H33
目標値			180	190	200	210
実績値	160	142	-	-	-	-

【秋田県建設産業担い手確保育成センター概要等】 設置日：平成29年9月1日 設置場所：建設部建設政策課内（正職員6名・担い手確保育成推進員2名の8名体制）

主な取組

実績等

主な成果等

若者確保



建設企業出前説明会



建設ふれあいフェア

- 「担い手確保育成推進員」による親身な対応
工業高校教員の経験を活かして、県内高校のネットワークを構築収集した情報をもとに県内建設企業に新卒確保の“コツ”を伝授
- 「建設企業出前説明会」の開催
建設企業数社が高校に出向いて、生徒に仕事の内容や「よこび」「やりがい」を紹介
- 「建設ふれあいフェア」の開催
子どもたちがドローンやミニバックホウの操縦体験など「遊び」を通して建設産業に興味を持つきっかけづくり

高校訪問回数
29年度 71回
30年度 120回(10月末現在)
(54校中44校)

開催回数
29年度 1校(1回)
30年度 7校(8回)

開催状況
H30.11.3(土・祝)開催
総来場者数 600名

- 工業高校にとどまらず普通高校や農業高校にもネットワークが拡大
- 学校、企業ともに好評で双方を知る絶好の機会
- 普通高校における開催による将来的なAターンの期待
- 将来担い手となる可能性の子どもとその保護者に建設産業の魅力と「新しい建設産業」の姿を発信

女性活躍



あきた建設女性ネットワーク設立

- 「建設業協会女性部会」の設立支援
県内3地域で自主的に女性部会を設立
- 「あきた建設女性ネットワーク」の設立
建設産業で働く女性をつなげる地域や業種を超えた全県規模のネットワーク組織を立ち上げ

平鹿「SAKURA」 29年10月
雄勝「はなこまち」 30年6月
仙北「HANAMARU」 30年11月

30年10月26日設立
設立時会員 87者
(2団体、85名)

- 各地域において、新規女性入職者の確保や、キャリアアップ、情報発信等、独自の取組を実施
- 新たな女性部会設立に向けた自発的な取組が拡大
- 地域・業種を越えて女性ネットワーク「繋ぎ合わせ」、建設産業で活躍する女性を「広く県民にPR」

ICT活用



建設ICT総合研修

- 「i-Academy恋地」(五城目町)の活用促進
産官連携により五城目町に全国随一のICT研修拠点を整備
- 「東光雪沢テクノパーク」(大館市)の活用促進
廃校となった小学校を改築し、i-Constructionコースを整備

建設ICT総合研修実施状況
モデル研修2回(6月)
一般公募研修2回(8~9月)
女性限定研修1回(10月)

研修の実施により
61名のICT人材を育成

- 中央と県北にICT研修拠点を整備
- 民間主導による研修実施体制を確立
- 秋田デジタルイノベーション推進 Consortium 建設部会の連携による、林業分野や自然保護分野等へのICT活用分野の拡大